

東浦和図書館資料展示

素朴派芸術の世界

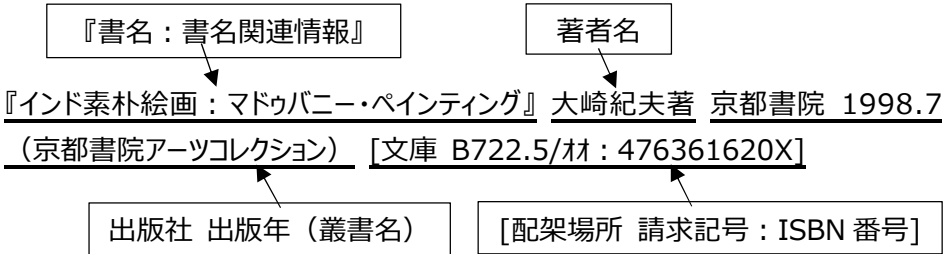
令和6年11月26日(火)～12月15日(日)



正規の美術教育を受けていない人々によって生み出された「素朴派芸術」。ナイーブ・アートとも呼ばれ、アウトサイダー・アートやアート・ブリュットなども該当します。これらの作品を生み出す人々は本業を持っている場合がほとんどで、独学で手法や技術を身に付けているがゆえに伝統や流行に左右されない自由な発想と表現が特徴です。この資料展示では「素朴派芸術」の世界へ誘う数々の本を紹介します。

- このブックリストは東浦和図書館で開催の資料展示「素朴派芸術の世界」の中で紹介した図書の部分リストです。
- 網羅的なブックリストではありませんのであらかじめご了承ください。このリストに掲載していない関連図書については、本の案内カウンターでお尋ねください。
- 貸出中の図書やほかのさいたま市図書館で所蔵する図書については予約や取り寄せをお申し込みください。本の案内カウンターでお受けしています。

このリストのみかた



※配架場所と請求記号は、東浦和図書館に所蔵している場合に付けています。

素朴派芸術の誕生



『アルフレッド・ウォリス：海を描きつづけた船乗り画家』 塩田純一 [著] みすず書房 2021.9 [9784622089490]

70 歳から独学で絵を描き始めたイギリスの船乗りアルフレッド・ウォリス。記憶の中にある海の光景を描いたその絵は次第に素朴派として評価が高まった。2007 年のウォリス展を企画した著者による日本初の評伝。

『アンリ・ルソー：証言と資料』 山崎貴夫 [著] みすず書房 1989.4 [4622042312]



『アンリ・ルソー：<自作を語る画文集>楽園の夢』 アンリ・ルソー画と文 藤田尊潮訳編 八坂書房 2015.1 [9784896941845]

生前は素人画家と軽視されるものの画家としての自信を失わずに絵を描き続け、今や素朴派の巨匠と称されるアンリ・ルソーが自作を語る画文集。

『インド素朴絵画：マドゥバニー・ペインティング』 大崎紀夫著 京都書院 1998.7
 (京都書院アーツコレクション) [文庫 B722.5/材：476361620X]



『セラフィヌ』 フランソワーズ・クロアレク著 山形梓訳 未知谷 2010.7 [芸術 723.35/材：9784896423051]

フランスの素朴派画家セラフィヌ・ルイは、守護天使のお告げを受け 41 歳から独学で絵を描き始めたがやがて精神を病んでしまう。エネルギーに描かれた植物は圧倒的。本書は 2010 年 8 月に公開された映画「セラフィヌの庭」の原作。

『ナイーブ・アート：ハンガリーの民衆素朴画家たち』 小さな絵本美術館 1995.4 [4906268803]

『ニコ・ピロスマニ：1862-1918』 ニコ・ピロスマニ著 文遊社 2008.3 [9784892570568]

名曲「百万本のバラ」のモチーフとなった絵画「女優マルゲリータ」で有名なグルジア(現ジョージア)の国民的画家の画集。



放浪の画家
ニコ・ピロスマニ

『放浪の画家ニコ・ピロスマニ：永遠への憧憬、そして帰還』 はらだたけひで著 富山房インターナショナル 出版年月 2011.7 [9784905194149]



牧歌礼讃/楽園憧憬
アンドレ・ボーシャン+藤田龍児

『牧歌礼讃/楽園憧憬：アンドレ・ボーシャン+藤田龍児』 アンドレ・ボーシャン[画] 藤田龍児[画] 東京ステーションギャラリー編著 東京美術 2022.3 [芸術 723.35/ボツ：9784808712457]

44歳で庭師から画家に転じたアンドレ・ボーシャンと大阪市立美術研究所で絵画を学んだ藤田龍児。共に牧歌的で楽園のような風景を描いた。2022年に開催された展覧会の図録。

『モーゼスおばあさんの絵の世界：田園生活 100年の自伝』 アンナ・M・R・モーゼス著 加藤恭子訳 新版 未来社 1991.6 [芸術 723.53/モセ：4624710576]



『モーゼスおばあさんの四季：絵と自伝でたどるモーゼスおばあさんの世界』 アンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス絵・文 W.ニコラ・リサ編・詩 加藤恭子, 和田敦子訳 BL 出版 2003.3 [4776400073]

75歳から絵を描き始めたモーゼスおばあさんの絵画集。アメリカの田園風景をあたたかいまなざしで美しく描いている。

『ルソーの夢』 利倉隆構成・文 二玄社 2008.2 (イメージの森のなかへ) [9784544211023]

MEMO

建築における素朴派芸術

『奇想遺産：世界のふしぎ建築物語』 鈴木博之[ほか]著 新潮社 2007.9 [9784103055310]

『フランスの庭：奇想のパラダイス』 横田克己著 松永学ほか写真 新潮社 2009.1 (とんぼの本) [園芸 629.23/31 : 9784106021817]

独創的なフランスの庭の紹介がメインだが、1982 年に歴史的に価値ある建造物としてフランス政府から指定された「メゾン・ピカシェット」を取り上げている。墓守の男が 440 万ものガラスや陶器の破片を使い 30 年かけて作り上げた家。



『郵便配達夫シュヴァルの理想宮』 岡谷公二著 河出書房新社 2001.8 (河出文庫) [文庫 B28 9.3/31 4309474187]

石ころに躓いたことをきっかけにフェルディナン・シュヴァルは 1879 年から 33 年の歳月をかけて一人で理想宮を作り上げた。1969 年には当時のフランス政府文化大臣のアンドレ・マルローにより歴史的建造物に指定された。本書では理想宮を東西南北の各正面から細かく紹介する。



『夢の実現するところ：郵便配達夫シュヴァルの理想宮に捧げる』 福永信[ほか]文 クロヴィス・プレヴォー写真 宮脇豊編 久保田亮訳 ギャラリー宮脇 2012.12 [教養 289.3/31 : 9784990243548]

シュヴァルの理想宮誕生 100 年を記念して作成されたオマーージュ集。シュヴァル本人のノートの一部を邦訳収録している。



『ふらんす』 2019 年 12 月号 (第 94 巻第 12 号) 特集：郵便配達夫シュヴァルの理想宮 p6-19 [4910077311298]

インタビュー 岡谷公二 シュヴァルの何に魅了されたのか(編集部) p6-10／夢の実現するところ(宮脇豊) p11-13／インタビュー「シュヴァルの理想宮 ある郵便配達員の夢」監督ニルス・タヴェルニエ(編集部) p14-15／対訳シナリオ[部分] シュヴァルの理想宮 ある郵便配達員の夢(訳・構成：中条志穂) p16-19／シネマひとりごと(中条志穂) p16

日本の素朴派芸術

『いのちあるものたちへの讃歌：丸木俊・スマの世界』丸木俊，丸木スマ[画] ブックグループ社 2007.11 [9784938624231]

原爆をテーマに絵を描いた丸木俊と俊の義母で 70 歳から絵を描き始めた丸木スマの作品集。

『「週刊新潮」全表紙絵 1 1956-1967』谷内六郎[著] 新潮社 1986.12

『「週刊新潮」全表紙絵 2 1968-1981』谷内六郎[著] 新潮社 1986.12

1956 年の週刊新潮創刊から 25 年間にわたって表紙の絵を担当。この 2 冊は郷愁とやすらぎを感じる日本の原風景を見ることができる。

『谷内六郎展覧会 全 5 巻 春,夏,秋,冬・新年,別巻 谷内六郎著 新潮社 1982.1-5 (新潮文庫) [4101252033 ほか]

『塔本シスコ絵の手帖』塔本シスコ[画] コロナ・ブックス編集部編 平凡社 2015.2 (コロナ・ブックス) [9784582634969]



『塔本シスコ シスコ・パラダイス：かかずにはいられない!人生絵日記』塔本シスコ[画]国書刊行会 2021.9 [9784336065704]

塔本シスコは 53 歳から身の回りのものや子どもの頃の思い出をモチーフに、鮮やかな色づかいと力強いタッチで 91 歳まで描き続けたその絵は見るものを圧倒する。

『花と人と生きものたち：丸木スマ画集』[丸木スマ][画] 丸木位里，丸木俊編集 小学館 1984.11 [4096802514]

丸木位里の母スマは丸木俊のすすめで 70 歳から絵を描き始めた。描かれたユーモラスな動物たち、生命力あふれる花々の絵は見るものを幸せにしてくれる。

『山下清作品集』山下清著 山下浩監修 榎木野衣解説 河出書房新社 2012.8 [9784309255439]



『山下清展』山下清[作] 山下浩監修 山下清作品管理事務局 c2008

放浪の天才画家として有名な山下清は旅先で見た懐かしい日本の風景を貼り絵で作成した。この 2 つの作品集は山下の魅力を余すことなく伝える。

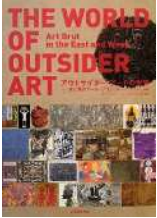
MEMO

アウトサイダー・アート／アート・ブリュットの世界

『アウトサイダー・アート』 求竜堂 2000.10 [4763000365]

美術教育を受けず、自らの内側から湧きあがるままに表現した芸術作品 140 点を収録する作品集。

『アウトサイダー・アート：現代美術が忘れた「芸術」』 服部正著 光文社 2003.9 (光文社新書) [4334032141]



『アウトサイダー・アート：芸術のはじまる場所』 デイヴィド・マクラガン著 松田和也訳 青土社 2011.4 [9784791765935]

『アウトサイダー・アート入門』 榎木野衣著 幻冬舎 2015.3 (幻冬舎新書) [9784344983755]

『アウトサイダー・アートの世界：東と西のアル・ブリュット』 はたよしこ編著 紀伊國屋書店 2008.1 [9784314010375]

『アウトサイド・ジャパン：日本のアウトサイダー・アート』 櫛野展正著 イースト・プレス 2018.9 [9784781617138]

『アドルフ・ヴェルフリ：二萬五千頁の王国』 アドルフ・ヴェルフリ[画] 服部正監修 国書刊行会 2017.1 [9784336061416]

統合失調症のため 31 歳で精神病院に収容されるが突如絵を描き始め、没する 30 年間病院の一室で膨大な量の絵を描いた。比類なきヴェルフリの作品世界の魅力を紹介する一冊。

『アル・ブリュット：野生芸術の真髄』 ミシェル・テヴォー著 杉村昌昭訳 人文書院 2017.5 [9784409100387]

思想界にも影響を与えた“生の芸術”アル・ブリュット論の古典的名著。

『アル・ブリュット アート 日本』 保坂健二郎監修 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA 企画 アサダワタル編 嘉納礼奈ほか著] 平凡社 2013.8 [9784582620573]



『アル・ブリュット湧き上がる衝動の芸術』 小林瑞恵[編]著 大和書房 2020.9 [9784479393481]

内から湧き上がる衝動を表現した日本作家 40 名の作品 270 点を紹介。

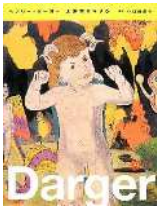
※書影画像は BOOK データ ASP から引用しています。



『スウェーデンのアール・ブリュット発掘：日常と独学の創造価値』 渡邊芳樹, 小林瑞恵著 平凡社 2018.8 [芸術 702.38/ワ : 9784582620672]

『パラレル・ヴィジョン：20 世紀美術とアウトサイダー・アート』 モーリス・タックマン, キャロル・S.エリエル編 淡交社 1993.10 [4473013014]

アウトサイダー・アートと主流芸術家作品のつながりを総合的に探究しようとした初の展覧会「パラレル・ヴィジョン」を記念して刊行されたもの。



『ヘンリー・ダーガー非現実を生きる』 ヘンリー・ダーガー[画] 小出由紀子編著 平凡社 2013.12 (コロナ・ブックス) [9784582634778]

『ヘンリー・ダーガー非現実の王国で』 ヘンリー・ダーガー[画] ジョン・M.マクレガー著 小出由紀子訳 作品社 2000.5 [芸術 726.5 : 4878933429]

1993 年開催「パラレル・ヴィジョン」展で世界に衝撃を与えたヘンリー・ダーガーの物語。作品分析はマクレガーによる。

MEMO

令和6年11月 さいたま市立東浦和図書館発行
電話：048-875-9977 FAX：048-875-9687
さいたま市図書館ホームページ： <https://www.lib.city.saitama.jp/>